大手前学園中長期計画 2026-2030 年度（OTEMAE Medium-to Long-Term Plan FY2026-2030）

建学の精神：STUDY FOR LIFE（生涯にわたる、人生のための学び）

【短期大学の目標】

「豊かな教養に基づく実務教育」を通じて
有為な人材を育成し、地域社会へ貢献

- 学生募集
- 教育改革
- 学生支援
- キャリア支援
- 国際化ビジョン
- 地域・社会連携
- 学科別戦略

【学園の目標】

財政基盤と
大手前ブランドの確立と強化

- 広報戦略
- キャンパスデザイン
- DX
- 経営計画

３つの目標達成を通じて
「生涯にわたる、人生のための学び」
の場を提供し続ける学園
を目指します

【大学の目標】

胸を打つ教育を通じて人生のウェルビーイングを実現

- 教学ビジョン
- キャリア支援
- 学生募集
- 安全で楽しいキャンパスづくり
- 図書館
- 地域・社会連携
- 国際化ビジョン
- 研究改革
- 学部・研究科・研究所戦略

大手前学園

【建学の精神】
　STUDY FOR LIFE（生涯にわたる、人生のための学び）

【学園の目標】
　財政基盤と大手前ブランドの確立と強化

広報戦略

【ビジョン（全体の目標）】
　全てのステークホルダーに対する大手前ブランドの認知向上

キャンパスデザイン

【ビジョン（全体の目標）】
　人生のウエルビーイングを実現するための快適で充実した教育・研究環境の質的向上を目指した継続的整備

DX

【ビジョン（全体の目標）】
　ICTの常態的な利用を学園全体に浸透させることで、DX推進を支える組織的な土壌を醸成し、教育・業務のあらゆる場面においてICTとデータを活用した改革を実行する。

経営計画

【ビジョン（全体の目標）】
　成長維持のための新しい取り組みが可能な財務基盤を確立し、環境の変化に応じた柔軟な経営を目指す。

大手前大学

【建学の精神】
STUDY FOR LIFE（生涯にわたる、人生のための学び）
【大学の目標】
胸を打つ教育を通じて人生のウェルビーイングを実現

教学ビジョン推進①　胸を打つBeing教育

【ビジョン】
「一人ひとりの人生のウェルビーイングを胸を打つ教育により実現する」ビジョン2030の教育改革を達成している。さまざまな学修体験をもとに、自己紹介エッセイとIonIを通じて内省し言語化して、学生が個々人の信念と志を育める大学になる。さらにそれを他者に語れる場を設けて、可視化できるようになる。初年次教育を通して、大学の学びに必要な基礎学力とイシューを育み、基礎固めを行なえるようになる。

教学ビジョン推進②　胸を打つKnowing/Doing教育

【ビジョン】
Knowing系授業科目にはアクティブラーニングの要素が採り入れられている。またクロスバウンダリーな側面を強化しつつDoing系の授業科目を開発することや、クロスオーバー科目およびプログラムがおかれ、全体として大学のポリシーを実現するカリキュラムとしてのブラッシュアップがなされている。さらには教務事項、学修サポートの充実が図られ、カリキュラムのシームレスな実施を支える仕組みが作られている。

教学ビジョン推進③　教学マネジメント改革

【ビジョン】
教学マネジメントの改善サイクルと学生の成長サイクルが相互に連動し、『胸を打つ教育』を継続的に実現するための教学マネジメント体制を確立している。
・全学的な教学IRにより教育・学修データを可視化し、学部・メジャー・教育プログラム単位でPDCAサイクルを運用している。
・学生自身も、ポートフォリオ、IonI、自己紹介エッセイなどを通して内省と言語化を重ね、学びから再挑戦へとつなげる自律的な成長サイクルを形成している。
このように、大学全体で教育の質保証と学生の主体的成長が循環する仕組みを確立し、『胸を打つ教育』を組織的に持続・発展させている。

安全で楽しいキャンパスづくり

【ビジョン】
大手前大学は学びの場として、入学から卒業まであらゆる意味で安全なキャンパスとなっている。
学生部を中心として、トラブルへの対応力が強化され、誰にとっても等しく安全であることを維持している。
また、学生と教職員は大手前マインド（大学への帰属意識、愛校心）を共有することで、ひとつの共同体を形成している。
大学において誰もが、高いクオリティー・オブ・ライフを実感している。

国際化ビジョン推進

【ビジョン】
グローバルキャンパスの実現に全学体制で臨み、日本人学生・留学生・教職員においてダイバーシティ＆インクルージョンが実践されている

研究改革

【ビジョン】
研究改革を通して、大手前大学全体が活性化している

キャリア支援①

【ビジョン】
本学は中規模総合大学としての強みを活かし、学生一人ひとりの個性・価値観・可能性に寄り添う伴走型キャリア支援を展開する。学生自身の思いや将来への志向を起点に、対話を重ねながら進路選択や面談支援を設計し、教職員・卒業生・地域との連携によって多面的な成長機会を提供する。多様なインターンシップや実践型プログラムを通じて、変化の時代に対応できる柔軟なキャリア形成を促進し、学生が自分らしく働き、生きる力を育む。

キャリア支援②　キャリア教育

【ビジョン】
１００年に及ぶ人生を楽しみ、人生を生き抜くための知識や技能（Knowing）、問題解決力等の汎用的能力（Doing）、自分らしさを発揮しながら社会の一員としての役割を果たす信念と志や責任感（Being）を備えるとともに、自身の人生・キャリアの基軸をもとに卒業後の進路をプランニングし、かつ実践する力量を備えた人材を育成するためのキャリア教育体系を構築する。

学生募集

【ビジョン】
「STUDY FOR LIFE」の理念に基づき、ウェルビーイングを実現する人生を自らデザインできる学生を、多様な入試制度と心に響くコミュニケーションを通じて迎え入れる。こうした取り組みにより、本学の価値観に共感する受験生を惹きつけることをめざす。

図書館

【ビジョン】
学内外の研究成果発信・共有する環境を整えた教員・大学院生のための知的基盤になる。
課題を探究し、信頼できる情報を収集・活用する力を身につける学習支援拠点になる。
学内コミュニティの交流拠点として、主体的且つ多様な学び・発表・発信が行われる「開かれた学習空間」になる。
学部・学科が協働するラーニングコモンズになる。

地域・社会連携

【ビジョン】
大学が保有する研究・教育資源を広く社会に還元するとともに、地域社会に貢献できる連携基盤を創造している。

学部別戦略：国際日本学部

【学部のビジョン】
（１）理論と実践の融合・社会と学部の連携：実践的な学びを重視した教育体系を構築し、地域と世界をつなぐ存在となることで、学部の社会的価値を高めている。
（２）「グローカル人材」の育成：多様性を尊重し、多角的な視野を持って、地域社会と国際社会に貢献できる人材を育て、輩出している。
（３）魅力的な学部：歴史・文化・言語の領域を横断的に学び、「日本を知り、世界を学ぶ」という理念のもと、学部の魅力を十分に発信できている。

学部別戦略：建築＆芸術学部

【学部のビジョン】
本学の強みである多彩な時間軸の学部カリキュラムを充実し、他大学にはない魅力的な建築＆芸術学部を創る。

学生が「つくる」「表現する」「探求する」というプロセスを通じて、ものづくりの本質に迫り、自律的に新たな表現を創出できる力を育成し、柔軟な思考で自分の人生を楽しみ、社会に貢献できるクリエイティブな人材を育てる。

（１）多彩な時間軸のカリキュラムの充実とは、現状ある過去から学び継承する学び、従来からあるアカデミックな学び、実社会ですぐに役立つ実践的な学び、資格に関する学びをブラッシュアップし、さらに、アートとテクノロジーが融合した、インタラクティブアートの分野を新設し、未来に向けた時間軸を完成する。
（２）専門に閉じない教育を目指し、他学部とのクロスオーバーが進化発展し、地域に開いた教育として、社会に役立つ建築や芸術の役割を探究し、社会連携事業の充実と実践を行う。学部内クロスオーバーを推進し、建築と芸術二つのコースが、これまで以上に融合することで、学部のさらなる魅力を高める。
（３）教育環境の充実を目指す。また、教育に必要な設備を強化する。

学部別戦略：現代社会学部

【学部のビジョン】
現代社会学部は、横断的な学びを通じて個人と社会のウェルビーイングを追究する学部である。

ゆえに、現代社会学部では、学内外の法人・個人と連携しながら、各専攻の学びを活かして《現場から》持続可能な社会の構築に寄与する教育・研究活動を展開する。それらの活動を通じて、専門知識に基づく社会課題への問題意識を涵養するとともに、多様な人びとと協働して課題解決を探究する力を育てることが、現代社会学部のミッションとなる。

課題解決を探究する力は、以下の能力によって構成される。

（１）現代社会の実態と課題を多面的・学際的に捉えるための情報収集・分析能力（Knowing）
（２）社会課題の発見・解決に資する実践力・協働力と、よりよい社会の構築に向けた構想力・行動力（Doing）
（３）社会の諸活動に主体的に参加する意志（Being）

これらの能力を活用し、社会課題の把握と解決に向けて主体的に行動できる卒業生を輩出できている。

この学部像が、情報学部新設に伴う学部改組後の新たな現代社会学部が到達すべきビジョンである。

このビジョンの実現のために、高大連携活動の推進、クロスオーバー教育文化のさらなる醸成、現代社会学部の魅力創出につながる新たな出口戦略について特に重点的に取り組む。

学部別戦略：経営学部

【学部のビジョン】
・経営、会計、マーケティングの３領域において、教員の高い専門性に裏打ちされた、魅力ある教育を行っている。
・情報学部との相乗効果を最大限に活かした教育を行い、経営と情報技術の双方に通じた人材を育成している。
・Knowing, Doing, Beingのバランスのとれた教育を行っている。
・多様性が尊重され、留学生と日本人学生が互いに学び合っている。
・就職実績において学生からも父兄からも満足いただける結果を残している。
・関西一円の高校生から第一志望として選ばれる学部となり、基礎学力の高い入学者を安定的に確保できている。

学部別戦略：健康栄養学部

【学部のビジョン】
健康栄養学部は、確かな基礎学力と専門知識を備え、幅広い分野で活躍する管理栄養士を継続的に輩出している。国家試験対策の充実により、希望者全員が国家試験に挑戦し、高い合格率を安定して達成できる教育体制を整え、学生は社会から信頼される栄養の専門家へと成長している。地域連携による食育活動や産学連携、国際交流イベントなど特色ある取り組みを展開し、学部全体が学びの喜びと挑戦の楽しさに満ち、教育・研究・社会貢献の三位一体で継続的に改善と成果を生み出している。

学部別戦略：国際看護学部

【学部のビジョン】
国際看護学部は、学内での学びと国内外の広範な地域における学術交流活動を通して、グローバルな視野に立った看護学の専門知識・技術・態度を修得し、多様な人々が暮らす社会における看護師としての基盤的能力を修得した学生に対し学士号（看護学）を授与する看護教育機関として、日本を代表するプレゼンスを確立している。
卒業生は、
（１）看護を求める人々に対し、多職種と連携・協働しながら看護を実践するための知識および技術を有している。
（２）看護師として、グローバル社会（多様な歴史的背景、価値観、宗教、文化等をもつ人々が共に暮らす社会）にある健康課題を見出し、それを克服するために、情報を駆使し主体的に課題に取り組むことができる。またグローバル社会を生きる人々が抱える健

康課題や看護問題の解決に向けて、必要な論理的・実践的知識および資源を活用し、適切な看護計画に基づいて安全かつ的確に行動することができる。
（３）グローバル社会に貢献する看護師として、多様な国籍を有し日本語が母語話者でない人と臆することなく、英語のみならずやさしい日本語や多言語および非言語的コミュニケーションなどを用いてコミュニケーションを図り、円滑な相互理解を築くことができる。かつ看護師として医療現場において医療英語を使った対応ができる。
（４）グローバル社会に暮らす人々に寄り添い、その営みを理解、受容し、個人の価値観、信念・志、宗教観などが反映された多様な生き方を尊重した看護が提供できる資質を有している。
（５）多様性を受容する豊かな人間性と肯定的自己概念、および人の健康と命に寄り添う医療に従事する者としての高い倫理観と人権意識を備え、へこたれない看護師としてグローバル社会に貢献する強い責任感と使命感を有している。
こうした卒業生や、同様の能力を備えた看護人材を研究機関として受け入れ、次世代の国際看護学教育を担う人材を輩出する機関となっている。

学部別戦略：通信教育課程

【通信教育課程のビジョン】
本学の通信教育課程は以下の3つをビジョンとして掲げる。
（１）多様な人々の幅広い「学んでみたい」や「もっと学びたい」に応えている。
（特に2030年度までに、以下の2点を実現している）
・日本語教員を希望する人々から最も支持される通信制大学である。
・若年層から、「就職できる通信制大学」として認知されている。
（２）時間や空間を超えて、誰もが「いつでも、どこでも」、なおかつ「質の高い」教育を受けることができる。
（３）最新技術を積極的に取り入れながらも、人と人との心の通ったつながりが学びに活かされている。

研究科別戦略：比較文化研究科

【研究科のビジョン】
日本をはじめ、欧米、アジア諸国における文学、歴史、思想、社会、芸術など文化現象の比較論的な研究および教育することを目的とする。博士前期課程においては、高度な専門知識を備え、調和のとれた国際感覚を有し、グローバル化が進んでいる世界への貢献を可能とする人材を養成するために教育と研究の向上を図っている。
またとくに博士後期課程においては、専攻分野の研究者として自立し、さらに研究者としての優れた実績をあげられる能力を育成している。
上記の目的達成のため、本学の学部出身者の割合を増すとともに、質を重視することで、大学院修了後に社会に還元できるべく高度な人材育成を目指している。

研究科別戦略：国際看護学研究科

【研究科のビジョン】
高度実践家としての高い技術と幅広い知識・教養を内包し、自立した看護師・保健師・助産師の研究者として、国内外の健康問題を顕在化し、リーダーシップをもって国際的な保健課題（感染症、パンデミック、医薬品アクセス、保健人材の国際移動など）の改善に寄与し、グローバルヘルスカバレッジの促進に向けた活動が自立して継続的に行える研究者を育成する。そのため博士後期課程を開設し、国際的視座をもって超少子高齢社会と共生推進社会の健康課題を解決し、新たな看護学の発展に寄与する研究を探究する人材育成を行う。

研究所別戦略：交流文化研究所

【研究所のビジョン】
大手前大学における研究活動の拠点の一つとして、交流文化ならびに比較文化に関する研究企画の立案、シンポジウムの開催、各種セミナー活動を継続的かつ活発に行っている。研究企画においては、論文の公開や学会発表の件数を着実に増やし、研究成果の可視化が進んでいる。シンポジウムおよびセミナーは、社会貢献を目的として企画・開催され、その認知度および参加者数はいずれも前中長期計画期間と比較して増加している。さらにセミナーについては、参加者のニーズを踏まえ、経年的に継続開催するものと単年度で実施するものとを整理・分類し、体系的な運営がなされている。

研究所別戦略：史学研究所

【研究所のビジョン】
・様々な地域文化財に関する基礎的な調査研究成果を継続して蓄積、公表している。
・上記の実績を通じ、地域文化財の調査研究機関として、地方自治体・各種研究機関からの評価・信頼関係を維持、定着させている。
・レーザー３次元計測及び計測成果の活用法を推進、拡大している。
・公開普及活動を通じ、地域文化財の調査研究機関として一般市民に広く認識されている。

研究所別戦略：国際看護研究所

【研究所のビジョン】
「教育と研究を通じて地域と連携し､地域発展に尽くすとともに国際社会に貢献する」というミッションのもと、「Think globally, Act locally」を体現するべく、国際看護学部、国際看護学研究科と連携し、グローバルな研究・実践活動のプラットホームとしての役割を果たす。活動には国際看護学部の全教員がメンバーとして参加し、国際看護研究機関である JBIや ILC(International Learning Collaborative)との協働をはじめ、教材開発、国際共同研究、リカレント教育、JIGN （Journal of Otemae University,Institute of Global Nursing）などの多様な教育・研究実践を推進している。
さらに、国内外の実習提携機関に加え、卒業生や大学院生も参加できる研究シーズ探索の場を醸成し、地域と国際社会の双方に資する知の創出とネットワーク形成を促進していく。

大手前短期大学

【建学の精神】
STUDY FOR LIFE（生涯にわたる、人生のための学び）
【短期大学の目標】
「豊かな教養に基づく実務教育」を通じて有為な人材を育成し、地域社会へ貢献

学生募集
【ビジョン（全体の目標）】
建学の精神に基づき、入試制度や学生支援の改革を通じて、地域に愛される短期大学として、人材の安定的確保に努める

教育改革
【ビジョン（全体の目標）】
夢の実現に直結するカリキュラムで、高度な職業的専門性と教養を身につけた人材を育成する

学生支援
【ビジョン（全体の目標）】
大手前大学との連携を強化し、様々な目標を持った多様な学生への適切な支援を教職協働でおこなう

キャリア支援
【ビジョン（全体の目標）】
実務教育を通じて社会人基礎力を身に付け、生涯にわたり夢を実現していける人材を輩出する

国際化ビジョン
【ビジョン（全体の目標）】
多様な文化を尊重できる人材育成をめざし、国際交流の機会を提供する

社会連携・社会貢献
【ビジョン（全体の目標）】
地域社会に必要とされる短期大学として、地域貢献活動を充実・発展させる

学科別戦略：ライフデザイン総合学科
【学科のビジョン】
１．高校生に短大で学ぶ価値や将来の多様な進路選択に優位な学びが認知される大学となりマーケットを広げて入学定員を充足し安定的に確保できている。
２．知識、体験、行動力のバランスのとれたコース自由選択制による教育を行い、在学生の満足度が高く評価されている。 また在学生の活躍を高校や社会などに伝達できている。
３．社会ニーズに即応した各コースの専門知識やコースを跨ぐ教育の多様性を生かした柔軟な教育を行い、学生の個性に合わせた教育効果が社会からも高く評価されている。
４．短大での学びを継続し向上するための編入学支援（２＋２）を行い、学園内編入はもちろん、国公立大学への編入学実績など志向に対応した人材を輩出し社会的評価を高めている。
５．就職実績においてもきめ細かい指導や実践教育により短期間での人材育成に満足な結果を残し、企業・団体から高い評価を得ている。

学科別戦略：歯科衛生学科
【学科のビジョン】
歯科衛生学科では、学生一人ひとりを大切にする短期大学の伝統を基盤としながら、きめ細やかな授業と臨床に即した実習で、現場で生きる知識やスキルを身につけることを目標としている。我が国では、高齢化が進み歯科医療も治療から予防に重点が移り、歯科衛生士のニーズが急激に高まっている。歯科衛生学科では、人々の生涯にわたる口腔の健康維持や増進を通じて、人生100年時代を見据えた社会貢献を全力で進めていきたいと考えている。さらに、卒業生の国家試験対策には万全を期している。

学科別戦略：医療事務総合学科
【学科のビジョン】
・医療事務総合学科は、高度化・複雑化する医療制度を正しく理解し、幅広い教養と専門的技能を備え、医療チームと患者をつなぐ確かなコミュニケーション力を持つ人材を育成し、社会に送り出す。
・本学科の卒業生が、医療制度を理解し、専門性・教養・コミュニケーション力を兼ね備えた医療事務人材として、地域医療機関から安定的に評価・信頼される状態を確立する。